

第1小委員会

国語

報 告 書

令和2年7月22日

第12地区教科書採択教育委員会協議会長 程 野 仁 様

第12地区教科書採択調査委員会第1小委員会委員長 豊 田 利 一

先に諮問のあった令和3年度から使用する中学校用教科用図書について、国語の教科書見本本の調査研究結果を次のとおり報告します。

記

1 調査研究の経過

第1回調査委員会（6月29日）

- (1) 配付された4者の教科書について、調査研究の観点や手順を協議した。
- (2) 各者の教科書を調査研究し、次回の選定委員会での検討資料とすることを確認した。

第2回調査委員会（7月9日）

- (1) 調査研究の観点や手順に基づいて作成した調査研究資料について協議した。
- (2) 報告書作成のための準備を行い、次回の調査委員会での協議内容を確認した。

第3回調査委員会（7月16日）

- (1) 作成してきた報告書について、作成の趣旨に基づき協議した。
- (2) 配付された4者の教科書について、報告書を作成した。

2 調査研究の方法

発行者から送付された教科書見本本について、以下の調査研究の観点に基づき、「教科書編集趣意書」及び北海道教育委員会が作成する「採択参考資料」を参考として行った。

ア 「取扱内容」について

- ・学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容及び学年・分野・領域等の目標、内容等に基づいて、正確、適切に取り上げられているか。

イ 「内容の構成・排列・分量等」について

- ・内容の構成が、地域の実態や生徒の生活経験及び興味・関心などに配慮されているか。
- ・内容の排列が、学年の発達段階に応じて、体系的、発展的に組織されているか。
- ・内容の分量が、各分野や領域ごとに適切におさえられているか。

ウ 「使用上の配慮等」について

- ・生徒の学習意欲を高める工夫がなされているか。
- ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。
- ・目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は配慮されているか。

3 見本本の総合所見

*主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、次のような学習活動が取り上げられている。

(1) 東京書籍 「新しい国語」

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、「てびき」において、学習活動を設定し、見通しをもたせ、登場人物や情景を描いた表現に注意して読んだり(第1学年)、構成や表現を工夫して新聞記事を書き換えたり、場面を比較して読み、表現の効果について交流したり(第2学年)、人物像や人物の考え方を読み取ったり、筆者の主張について自分の意見とその根拠を書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動(第3学年)を位置付けている。

(2) 三省堂 「現代の国語」

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、「学びの道しるべ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、人物像や人物の心情の変化を捉えたり(第1学年)、登場人物の人物像と相互関係を捉えたり、主人公の言動に着目したり(第2学年)、科学と社会との関係について、自分の考えを広げたり、表現の特徴や工夫を捉え評価したり(第3学年)するなど、考えを広げたり深めたりする活動を位置付けている。

(3) 教育出版 「伝え合う言葉 中学国語」

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、「学びナビ」において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに(全学年)、筆者の主張の視点や作品の人称・視点を意識して読んだり(第1学年)、自分の知識や経験と結び付けて考えたりイメージの変化に注目して描かれた世界を想像したり(第2学年)、自分の言葉や話す場を意識し互いの考えを尊重し根拠が妥当であるか評価したり(第3学年)するなど、考えを広げたり深めたりする活動を位置付けている。

(4) 光村図書 「国語」

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、「学習(手びき)」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、説明の工夫を捉えながらものの見方を広げたり、根拠を明らかにしながら伝え合ったり(第1学年)、構成を捉え説明の仕方を工夫したり、根拠を吟味し説得力を高めたり(第2学年)、問題意識をもち社会に視野を広げたり、対象を評価し多様性の中で自分の考えを確立したりするなど(第3学年)、考えを広げたり深めたりする活動を位置付けている。

4 その他

*各教科見本本の特徴的な内容については、次のような学習活動が取り上げられている。

(1) 東京書籍 「新しい国語」

- ・各教科見本本の特徴的な内容については、「学びの扉」を掲載し、日常生活の中での言語能力に関わる疑問を提示し、「言葉の力」に、それぞれの教材で身に付けて学びのポイントを掲載するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。(全学年)

(2) 三省堂 「現代の国語」

- ・各教科見本本の特徴的な内容については、巻頭の「領域別教材一覧」に「つけたい力」を提示し生徒に見通しをもたせ、教材の最後には学習を振り返る機会を設ける(全学年)など、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。(全学年)

(3) 教育出版 「伝え合う言葉 中学国語」

- ・各教科見本本の特徴的な内容については、巻頭に「言葉の地図」を掲載し、教材ごとの指導事項や言語活動を総覧できる一覧や自ら学習を振り返る観点を示したり、「ここが大事」に学習で確実に身に付ける重点的な内容を示したりする等、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている(全学年)

(4) 光村図書 「国語」

- ・各教科見本本の特徴的な内容については、巻頭に「思考の地図」を掲載し、様々な場面で活用で

きる思考ツールや情報の可視化の方法を示したり、「学習の窓」に、学習を通して身に付ける汎用的な資質・能力を示したりするなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がある。(全学年)

別紙様式1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名				
	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年	国語・701 国語・801 国語・901	新しい国語1 新しい国語2 新しい国語3				
○ [知識及び技能] の内容では次のような学習活動が取り上げられている。								
<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館などを活用したり、図表と文章を関連付けながらレポートを書く活動（第1学年）、必要な情報を取り出し、囲みや矢印を使って整理する活動（第2学年）、インターネット等で調べることを通して、情報の客観性や信頼性を吟味する活動（第3学年）。 								
○ 話すこと・聞くことでは次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。								
<ul style="list-style-type: none"> ・話合いの展開に注意して考えをまとめる活動（第1学年）、資料や機器を使い分かりやすく話したり、互いの意見を尊重しながら話し合い、結論を出したりする活動（第2学年）、場の状況に応じて表現を工夫したり、話し合って合意を形成したりする活動（第3学年）。 								
○ 書くことでは次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。								
<ul style="list-style-type: none"> ・調べて分かった事実等を基に構成を考えてレポートを書く活動（第1学年）、多様な方法で集めた材料を整理し絞り込んで書く活動（第2学年）、論の進め方を考え説得力のある批評文を書く活動（第3学年）。 								
○ 読むことでは次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。								
<ul style="list-style-type: none"> ・詩に描かれている風景や思いを想像し音読する活動や、必要な情報を取り出して要約する活動（第1学年）、文章を読み比べて論の進め方を考える活動（第2学年）、作品を批評したり、文章に表れている考え方を捉え、吟味したりする活動（第3学年）。 								
○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応では次のような学習活動が取り上げられている。								
<ul style="list-style-type: none"> ・「てびき」において、学習活動を設定し、見通しをもたせ、<u>登場人物や情景を描いた表現に注意して読んだり</u>（第1学年）、<u>構成や表現を工夫して新聞記事を書き換えたり</u>、<u>場面を比較して読み、表現の効果について交流したり</u>（第2学年）、<u>人物像や人物の考え方を読み取ったり</u>、<u>筆者の主張について自分の意見とその根拠を書いたりするなど</u>、<u>考え方を広げたり深めたりする活動</u>（第3学年）。 								
内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列は次のような工夫がなされている。							
	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中から題材を見付け、言葉を選び、表現を工夫して詩を書く活動の後に、視点を決め、人物の心情などを描き出すために、ふさわしい言葉を選んで文章を練り上げる活動（第1学年）、表現の効果を考え、描写を工夫して物語を書く活動（第2学年）、話の内容や表現の仕方を評価しながら聞き、自分の考えを広げる活動（第3学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。 							
使用上の配慮等	○ 内容の分量は次のようになっている。							
	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年、総ページ数 336 ページ(前回より 2 %増)。第2学年、総ページ数 340 ページ(前回より 1 %増)。第3学年、総ページ数 348 ページ(前回より 4 %増)。 							
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語学習の意義を示した「言葉の学習を始めよう」を掲載し、学習意欲を高める工夫がなされている。（全学年） 							
<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>「学びの扉」</u>を掲載し、日常生活の中での言語能力に関わる疑問を提示し、「言葉の力」に、それぞれの教材で身に付けたい学びのポイントを掲載するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。（全学年） 								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びを支える言葉の力」を掲載し、他教科の学習や生活に生かせるようにしたり、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」（QRコード）などを掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。（全学年） 								
その他	○ 北海道の素材を第1学年で4教材、第2学年で2教材、第3学年で3教材取り扱っている。							
	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。							

別紙様式1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	15・三省堂	第1学年 第2学年 第3学年	国語・702 国語・802 国語・902	現代の国語1 現代の国語2 現代の国語3
○ [知識及び技能] の内容では次のような学習活動が取り上げられている。				
・防災に関する複数の資料を読み、資料の引用について理解する活動(第1学年)、共生社会に関するデータや文章の一部を引用する活動(第2学年)、メディア・リテラシーに関する資料を読み、情報の信頼性の確かめ方を理解する活動(第3学年)。				
○ 話すこと・聞くことでは次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。				
・日常生活を振り返って話題を選びスピーチを行う活動(第1学年)、社会生活から題材を探しプレゼンテーションを行う活動(第2学年)、社会生活から題材を探し提案や主張を行う活動(第3学年)。				
○ 書くことでは次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。				
・調べて集めた情報を整理してレポートを書く活動(第1学年)、多様な方法で材料を集め新聞などへの投稿文を書く活動(第2学年)、条件に応じて表現を考え説得力のある課題作文を書く活動(第3学年)。				
○ 読むことでは次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。				
・説明文の基本構造を捉え内容を把握する活動(第1学年)、主張と例示との関係に着目して文章を読む活動(第2学年)、文章を批判的に検討しながら自分の考えを確かにする活動(第3学年)。				
○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応では次のような学習活動が取り上げられている。				
・「学びの道しるべ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、 <u>人物像や人物の心情の変化を捉えたり</u> (第1学年)、 <u>登場人物の人物像と相互関係を捉えたり</u> 、 <u>主人公の言動に着目したり</u> (第2学年)、 <u>科学と社会との関係について自分の考えを広げたり</u> 、表現の特徴や工夫を捉え評価したり(第3学年)するなど、考えを広げたり深めたりする活動。				
内容の構成・排列	○ 内容の構成・排列は次のような工夫がなされている。			
	・表現の効果について考え、必要な情報に着目して文章を要約して内容を捉える活動(第1学年)、地域の魅力について編集会議を開き、情報収集を行い、記事を書き、情報誌にまとめて、発表会をする活動(第2学年)、中学校生活を振り返り、編集方針を立てて名言集にまとめ、交流する活動(第3学年)を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。			
使用上の配慮等	○ 内容の分量は次のようになっている。			
	・第1学年、総ページ数は351ページ(前回より約10%増)。第2学年、総ページ数は351ページ(前回より約8%増)。第3学年、総ページ数は335ページ(前回より約9%増)。			
その他	○ 様々な場面で活用できる実践的知識や具体的な学び方をまとめた「資料編」を掲載する(全学年)など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。			
	○ <u>巻頭の「領域別教材一覧」に「つけたい力」を提示し生徒に見通しをもたせ、教材の最後には学習を振り返る機会を設ける(全学年)</u> など、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。			
その他	○ 「『読み方を学ぼう』一覧」を掲載し、他教科や社会生活の中で活用できるようにしたり、独自のフォントを開発し、画数や点画の方向等に誤解が生じないよう配慮したりするとともに、QRコードを掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。			
	○ 北海道の素材を第1学年で2教材、第2学年で6教材、第3学年で4教材取り扱っている。			
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

別紙様式1

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年	国語・703 国語・803 国語・903	伝え合う言葉 中学国語1 伝え合う言葉 中学国語2 伝え合う言葉 中学国語3
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ [知識及び技能] の内容では次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・写真を見る観点を知り、特徴を活かし、多様な活用の仕方について吟味する活動(第1学年)、小説と脚本を構成する情報を整理し効果を理解する活動(第2学年)、複数の新聞を比較しながら構成する情報を整理し、効果について理解する活動(第3学年)。 ○ 話すこと・聞くことでは次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・お気に入りの一品を紹介する活動や話合いの結論をまとめの活動(第1学年)、根拠に注意し説得力のある提案をする活動やより良い結論を導く活動(第2学年)。社会生活から題材を探し提案や主張を行う活動や意見を共有して話し合う活動(第3学年)。 ○ 書くことでは次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・資料を比較し根拠を基に意見文を書く活動や文章を評価して報告文を書く活動(第1学年)、資料を集め新聞の投書を書く活動や体験から意見文を書く活動(第2学年)、具体例から説得文を書く活動や読み手の助言を踏まえて自己PR文を書く活動(第3学年)。 ○ 読むことでは次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・場面と描写に着目し内容の解釈を話合う活動や筆者の考え方から考えをまとめる活動(第1学年)、作品の構成上の特徴と効果について意見交流する活動や働くことを話し合う活動(第2学年)、作品の表現を評価する活動や表現の効果を話し合う活動(第3学年)。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応では次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「学びナビ」において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに(全学年)、筆者の主張の視点や<u>作品の人称・視点を意識して読んだり</u>(第1学年)、自分の知識や経験と結び付けて考えたり<u>イメージの変化に注目して描かれた世界を想像したり</u>(第2学年)、自分の言葉や話す場を意識し<u>互いの考え方を尊重し根拠が妥当であるか評価したり</u>(第3学年)するなど、考え方を広げたり深めたりする活動。 			
内容の構成・排列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列は次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図を意識しながら集めた材料を分類・整理して案内文を書く活動の後に出来事や経験をまとめ叙述の仕方を考えて随筆を書く活動(第1学年)、第1学年の活動の後に話し手と自分の考えを比較したり質問したりしながら自分の考えをまとめる活動(第2学年)、第2学年の活動の後に中学校生活を振り返り読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る(第3学年)活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。 ○ 内容の分量は次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年、総ページ数 344 ページ(前回より約 2 %増)。第2学年、総ページ数 356 ページ(前回より約 2 %増)。第3学年、総ページ数 344 ページ(前回より約 1 %減)。 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 持続可能な社会の実現に向けて、活動を通して生徒の自学自習に資する資料を収録した「まなびリンク」を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている(全学年)。 ○ <u>卷頭に「言葉の地図」を掲載し、教材ごとの指導事項や言語活動を総覧できる一覧や自ら学習を振り返る観点を示したり、「ここが大事」に学習で確実に身に付けたい重点的な内容を示したりする等、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている(全学年)。</u> ○ 「言葉の自習室」を掲載し、本教材や他教科での学習に役立つようにしたり、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により学びやすい紙面づくりに配慮したりするとともに、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている(全学年)。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道の素材を第1学年で8教材、第2学年で2教材、第3学年で1教材取り扱っている。 ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

別紙様式1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	38・光村	第1学年 第2学年 第3学年	国語・704 国語・804 国語・904	国語1 国語2 国語3
○ [知識及び技能] の内容では次のような学習活動が取り上げられている。				
・学校図書館を活用し情報を集め、図表と文章を関連付けて読み解く活動(第1学年)、多様なメディアを活用した情報収集の方法を身に付け、ニュースを読み解く活動(第2学年)、実用的文章の読み解きや新聞の比べ読みから情報の信頼性を確かめる活動(第3学年)。				
○ 話すこと・聞くことでは次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。				
・話の構成を考えてスピーチし互いを理解し合う活動(第1学年)、資料や機器を活用しプレゼンテーションをする活動(第2学年)、よりよい社会の実現を目指して自分の意見を発信し合意形成に向けて話し合う活動(第3学年)。				
○ 書くことでは次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。				
・グラフなどの統計資料を引用してレポートを書く活動(第1学年)、多様な方法で情報を集めガイドブックにまとめる活動(第2学年)、客観的に対象を分析し説得力のある批評文を書く活動(第3学年)。				
○ 読むことでは次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。				
・伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるように、記述や図表を根拠として自分の考えをまとめる活動(第1学年)、文章の構成や論理の展開について話し合う活動(第2学年)、文章の比較を基にグループで討論する活動(第3学年)。				
○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応では次のような学習活動が取り上げられている。				
・「学習（手びき）」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、 <u>説明の工夫を捉えながらものの見方を広げたり、根拠を明らかにしながら伝え合ったり</u> (第1学年)、構成を捉え説明の仕方を工夫したり、 <u>根拠を吟味し説得力を高めたり</u> (第2学年)、問題意識をもち社会に視野を広げたり、 <u>対象を評価し多様性の中で自分の考えを確立したりするなど</u> (第3学年)、考えを広げたり深めたりする活動。				
○ 内容の構成・排列は次のような工夫がなされている。				
・自分にとって必要な情報を的確に捉えながら、要点を押さえて聞き取ったことをメモに取る活動の後に、質問の仕方や聞き方を工夫して話を聞き出し、対話を充実させる活動(第1学年)、観点を明確にして文章を比較し、その分析を基に構成や表現の効果を考える活動(第2学年)、3年間の国語の学びを振り返り、冊子にまとめて、発表会をする活動(第3学年)など、系統的・発展的に学習できるような工夫。				
○ 内容の分量は次のようになっている。				
・第1学年、総ページ数 334 ページ(前回より約 1 %増)。第2学年、総ページ数 330 ページ(前回より約 1 %増)。第3学年、総ページ数 318 ページ(前回より約 3 %増)。				
○ 相手意識や目的意識を明確にするとともに、学習の参考となる資料を収録した「広がる学び 深まる学び」を掲載する(全学年)など、生徒の学習意欲を高める工夫がある。				
○ <u>巻頭に「思考の地図」を掲載し、様々な場面で活用できる思考ツールや情報の可視化の方法を示したり(全学年)、「学習の窓」に、学習を通して身に付ける汎用的な資質・能力を示したり(全学年)するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がある。</u>				
○ 「学習を振り返ろう」を掲載し、他教科や日常生活に広げて活用できるようにしたり、小さな文字はユニバーサルデザインフォントを使用したり、1人1台端末を活用した学習活動としてQRコードを掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。				
○ 北海道の素材を全学年で5教材取り扱っている。				
○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。				